

第2 30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	9	-2	1.00	109	+10	1.00
	30日死者	1	-5	0.11	28	+5	0.26
	30日以内死者	10	-7	1.11	137	+15	1.26

○ 全国

死者	区分	10月中		10月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	261	-12	1.00	2,078	-23	1.00
	30日死者	60	-2	0.23	475	+40	0.23
	30日以内死者	321	-14	1.23	2,553	+17	1.23

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は28人(+5人)、「24時間死者」は109人(+10人)で、これらをあわせた「30日以内死者」は137人(+15人)であり、「24時間死者」の1.26倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 阪神11人(39.3%)、神戸8人(28.6%)、東播7人(25.0%)、西播1人(3.6%)、淡路1人(3.6%)の順で発生している。
- 状態別 自転車乗用中10人(35.7%)、歩行中8人(28.6%)、自動車乗車中5人(17.9%)、自動二輪乗車中3人(10.7%)、原付乗車中2人(7.1%)の順で発生している。
- 年齢層別 65歳以上が17人(60.7%)、25~64歳が9人(32.1%)、16~24歳が2人(7.1%)の順で発生している。
- 経過日数別 10日以内の死亡が21人(75.0%)となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が22人で、78.6%となっている。